

平成二十九年年度採用試験問題

【民法】

木材問屋を営むAは、Bから資金を借り入れ、その担保のためAが甲倉庫内に保管する全ての木材を譲渡担保に供し、占有改定による引渡しを行った。なお、この譲渡担保の設定契約においては、Aが甲倉庫内の木材を通常の営業方法に従って販売できること及びAが新たに木材を取得したときは甲倉庫に搬入するものとし、これについても譲渡担保の目的とすることが定められていた。以上を前提として、以下の設問に答えよ。

- 1 このような譲渡担保の有効性について論ぜよ。
- 2 甲倉庫の隣地では、Cが乙工場を操業していた。Cが乙工場内に設置する機械から発火し近隣に延焼したため、甲倉庫は全焼した。Aは、その後程なくして廃業するに至り、Bに対して借入金返済を怠った。
 - (1) Aは、Cにどのような法的主張をすることができるか。
 - (2) Bは、A及びCに対してどのような法的主張をすることができるか。